



40MHz

L1

ハードウェア

トリガー用検出器を用いて、
高速に p_T を計算
RoIを出力

HLT

ソフトウェア

L2MuonSA

RoI周辺のミュオン
検出器の情報を用いて、
 p_T を計算

L2MuonCB

L2MuonSAの情報と
内部飛跡検出器の情報を
組み合わせて p_T を計算

MuonEF

全ての検出器の情報を
用いて、ミュオンの飛跡を
再構成

データ保存

~100kHz

~3kHz